

令和6年度学校経営計画書

学校名 三次市立布野中学校

校長名 吉浪 徳香

I 学校の状況

学級数	5	生徒数	17	教職員数	13
メールアドレス	funo-j@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/funo-jp/				

II 学校教育目標 **かがやけ！Funo☆「地域と共に 未来を創る 人が育つ 布野中」**

「自立と共生」
自らとふるさとに誇りを持ち、仲間とともに、夢や志に向けて主体的に活動する
生徒の育成

《めざす生徒像》

- ① 夢や目標を持ち、その実現に向けて努力・挑戦する生徒
(生きて働く知識と技能・意欲)
- ② 互いを尊重し、他者と協働できる生徒 (社会性)
- ③ 問いを見つけ、主体的に学び、課題解決する生徒 (主体性)
- ④ ふるさとに誇りを持ち、社会に貢献する生徒 (貢献)

《学校教育目標達成のために育成する【資質・能力】》

- ① 生きて働く知識と技能
- ② 調整力 → 「自己調整力」(自らを振り返り、学びや行動を調整する力)
「対話力」
- ③ 主体性
- ④ 自らへの自信

《研究主題》

主体的・協働的に探究する児童・生徒の育成
～布野 style (探究・対話・評価) の確立を目指して～

《布野中学校区コミュニティ・スクールのめざすところ》R4.R5の協議から

ふるさとを知り、ふるさとから学び、ふるさとを愛し、貢献する子どもを育む
・社会性・コミュニケーション能力・責任感・たくましさ・郷土愛

III 使命・存在意義 (ミッション)

- 1 保護者や地域から信頼される学校
 - 共感的人間関係の中で学び合い切磋琢磨して高め合い、学力を高め、15歳の生徒が進路を実現する (中学校3年生…自己を認識し、選択し、表現する力)
 - 生徒が「学校は楽しい」「力が伸びる」と感じ、自己肯定感が高まり安心して学び、教職員が自己実現できる
 - ことばの教育の特色を生かした、感性豊かな人が育つ
 - コミュニティ・スクールとして、学校・地域・家庭が協働して、ふるさと布野を誇りに思い、社会に貢献する生徒を育む
- 2 広島県の「学びの変革」がめざす姿を具現化する学校
 - 生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人を育む
 - 探究的に学び続ける人を育む

《めざす学校像》

□「信頼」される学校

- ① 安心・安全な学校（他者を尊重し、共感的人間関係の中で学び合い、切磋琢磨して高め合う）
- ② 確かな学力を身に付けさせ、15歳の生徒が進路を実現する学校（学力の向上）
- ③ 夢をかなえる学校（自己肯定感が高まり、自己の成長やよさが実感でき、志を立てる）
- ④ 人としての基本を身に付けられる学校（「時を守り、場を清め、礼を正す」環境、礼節、一生懸命）
- ⑤ 社会に貢献する学校（小学校・保護者・地域と連携して地域の活性化に貢献できる）

IV 重点事項（ミッションを果たすために）

① 【チームで取り組む学力保障】（習得）

○学力（基礎・基本、活用力）の確実な定着、向上

→三次市学力到達度検査で30%未満0、さらには50%未満0
全員の進路実現

- ・授業規律の徹底（年度当初に教務部と生徒指導部が話し合い指導・徹底）
- ・基礎・基本の定着の徹底
- ・教材研究・教材分析・授業づくりの継続
- ・「本質的な問い」の設定と発問の精選による深い思考を促す授業
- ・生徒指導の実践上の視点〔自己決定〕〔自己存在感〕〔共感的人間関係〕を基盤とした授業
- ・自主学習ノート（小中で）
- ・授業の「振り返り」の充実による生徒の「自己調整力」の向上
- ・日常的な授業交流
- ・授業評価（生徒会代議員会による主体的活動に）
- ・ICTの活用
- ・家庭学習の徹底
- ・読書・短歌・ことばの教育（布野中学校区の特徴・強み）
- ・各種検定（英語検定・数学検定・漢字検定）への挑戦
- ・地域サポーターによる学習支援

② 【授業力向上による学力向上】（活用）

○主体的・対話的で深い学びの授業を全教科で

- ・探究的なプロジェクト型学習の単元開発（見方・考え方を深める授業）
- ・個別最適な学び、協働的な学び
- ・「振り返り」の充実による生徒の自己調整力の向上
- ・小中合同研修会（小中の教務主任・研究主任の日常的な連携）
- ・三次結芽人育成研修会への参加と還流（各部会で学んだことを校内へ還流、皆で学び合う）
- ・他地域とのオンライン授業（視野を広げる、見方・考え方を深める）

③ 【キャリア教育を柱としたコア・オリジナルカリキュラムを小中で】（探究）

○自らの学びを調整しながら探究する「探究学習」

- ・地域から学び探究する地域探究学習（小学校1年～中学校3年）
- ・9年間を貫く系統的なキャリア教育→布野の価値ある人・もの・ことを知り、学び取る。とくに、地域に生きる人の熱い思いに学ばせ、自己を認識させ、自らの生き方を考えさせる。そのためにカリキュラム・マネジメントを行う。

- ・ 社会に開かれた教育課程（社会性の向上）
 - ・ 異年齢交流
 - ・ 積極的な地域貢献活動（郷土愛と誇りを高める）
- ◎基盤
- 【チームで「生徒指導の実践上の視点」を生かした教育活動を行い、社会で通用する自己指導能力を育て、集団の力をより向上させる。（積極的生徒指導、リーダーを育てる）】
- ・ 生徒会活動を中心に生徒の組織的な自主活動を進め、人権感覚を磨き、学び合い高め合う生徒集団を育てる。
 - ・ 小学校と強く連携し、見直した生徒指導規程に基づき主体的に自己指導能力を高めさせる。
 - ・ 「時を守り、場を清め、礼を正す」
 - ・ 組織的に特別支援教育を推進する。
- 【布野小中一貫教育推進協議会、布野中学校区コミュニティ・スクールで組織的に子どもたちを育む】
- ・ 小中合同運動会、小中合同短歌交流会、地域ボランティア等、積極的に異年齢交流の場をしくみ、自己肯定感を向上させ、価値観を広げさせる。
 - ・ 布野小中一貫教育推進協議会を計画的に開催する。日常的に、小中の教務主任、研究主任、生徒指導主事どうしが連携する。
 - ・ 小中合同研修の計画的な実施
 - ・ 布野中学校区コミュニティ・スクールの実働（学校運営協議会、地域学校協働活動の実施）
- 【家庭・地域と共に子どもたちを育む。教職員も自己実現できる職場環境と組織をつくる】
- ・ Let' s で進む！
 - ・ 教職員が意欲を高め自己実現できる環境・組織づくり（自己決定・共感的人間関係・自己存在感）
 - ・ 業務改善（校務の効率化等による業務改善の仕組づくり）
 - ・ 対話、熟議の場をつくり、積極的な意見交流を行い、自走する集団として高める。
 - ・ 布野中学校区コミュニティ・スクールの実施（家庭・地域と共にある学校の実働）

V 中心価値・行動規範

私たちは、児童・生徒が「この学校で学んでよかった」、保護者が「この学校に行かせてよかった」、教職員が「この学校に勤めてよかった」地域の皆さんが「この学校を誇りに思う」という学校になるために全力を尽くします。

〔行動規範〕

- 生徒は私たちの姿を見て育つことを自覚し、教職員としての使命を果たすために自らの人間性と専門性を高める努力を続けます。
- ① 法令・法規を遵守して職務に専念します。
- ② 研修を重ね、積極的に挑戦する意欲をもち専門性を磨き続けます。
- ③ 生徒の将来を見通し、教育的愛情をもって生徒に接し、生徒の力を向上させます。
- ④ 「報告」「連絡」「相談」「確認」を大切に、チームとして組織的に職務を遂行します。
- ⑤ 地域の教育力を生かし、保護者・地域と連携・協力し、信頼される学校づくりを行います。

〔めざす教職員像〕

- ① 高い倫理観と豊かな人間性を持っている。

- ② 教育的な愛情と使命感をもっている。
 - ③ 確かな授業力を身に付けている。
 - ④ 専門性を発揮し、連携・協働して組織的に職務を遂行できる。
- 不祥事防止研修で確認
「私たち布野中学校の職員は、法令を守り、職責を自覚し、地域に信頼される学校をつくることを宣言します。」

VI 現状分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>【地域】 豊かな地域資源(文化、自然、人、もの、こと)がある コミュニティ・スクールによる学校への協力支援体制 三世代家族で育った子</p> <p>【行政(国、県、市)】 三次市教育大綱 三次市内、布野町内公共機関の協力支援体制 布野まちづくり連合会との連携 市の教育予算配置 (タブレット、電子黒板等)</p>	<p>S (強み)</p> <p>【学校】 地域資源の活用、還元、達成感 小中連携における協力体制 各種検定コンクールへの支援体制 職員のチームワーク</p> <p>【生徒】 感性が豊かで優しい生徒 自己肯定感が向上 校風として挑戦する姿勢 気持ちのよい挨拶</p> <p>【保護者】 学校教育への関心度の高さ 会計処理が的確</p>	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールとして学校・地域・家庭が協働し、生徒を育成 ○小中一貫教育の推進 ○社会に開かれた教育課程、地域資源を活用した地域探究学習と学習成果の発信 ○地域に価値ある、地域と共にある学校づくりによる自己有用感の醸成 ○生徒指導の実践上の視点を生かした教育活動 ○資格取得・各種コンクール等への積極的な挑戦等、個別最適な学び
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>【地域】 人口減少、少子高齢化</p> <p>【市教委・県教委・国】 地方交付税の激減 交通の便が悪い 施設老朽化に対し改善困難</p> <p>【社会情勢】 将来が見通せない不安定さ</p>	<p>W (弱み)</p> <p>【学校】 生徒数の減少 施設の老朽化 業務の能率化</p> <p>【生徒】 人間関係の固定化 コミュニケーション能力不足 自己肯定感が低い生徒 課題ができない生徒 不登校傾向の生徒 社会性が欠如した生徒もいる</p> <p>【保護者】 個に応じた教育へのさらなる期待</p>		<p>弱みを克服する解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○育成すべき資質・能力に係る評価指標の明確化と振り返り ⇒ 成長の実感 <ul style="list-style-type: none"> ・生きて働く知識と技能 ・調整力 ・主体性 ・自らへの自信 ○集団の力の向上 学級集団づくり 生徒会活動による学校集団づくり ○ICTの有効活用 ○個別最適な学びの推進

重点課題

- ① 【チームで取り組む学力保障】(習得)
 - 学力(基礎・基本、活用力)の確実な定着、向上
 - ② 【授業力向上による学力向上】(活用)
 - 主体的・対話的で深い学びの授業を全教科で・探究的なプロジェクト型学習の単元開発(見方・考え方を深める授業)
 - ③ 【キャリア教育を柱としたコア・オリジナルカリキュラムを小中で】(探究)
 - 自らの学びを調整しながら探究する「探究学習」
《基盤》
- 【チームで「生徒指導の実践上の視点」を生かした教育活動を行い、社会で通用す

る自己指導能力を育て、集団の力をより向上させる。(積極的生徒指導、リーダーを育てる)】

○【布野小中一貫教育推進協議会、布野中学校区コミュニティ・スクールで組織的に子どもたちを育む】

○【家庭・地域と共に子どもたちを育む。教職員も自己実現できる職場環境と組織をつくる】

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標 (達成目標)	具体的な取組・方策
確かな学力	○新しい時代に求められる資質・能力や確かな学力を育てる	○チームで取り組む学力保障 ・学力の確実な定着と意欲向上 (指標) ・1時間以上学習している生徒100% ・自学ノート提出100% ・年間10冊以上本を読む生徒100% ・各種学力検査で、全国・市の平均を上回る。 ・三次市学力到達度検査30%未満の生徒0人	・基礎・基本の定着の徹底 ・「本質的な問い」の設定と発問の精選による深い思考を促す授業 ・生徒指導の実践上の視点〔自己決定〕〔自己存在感〕〔共感的人間関係〕を基盤とした授業 ・自学ノートを定期的に評価し、掲示する ・読書・短歌 ことばの教育 ・ICTの活用
		○授業力向上による学力向上 ・主体的・対話的で深い学びの授業を全教科で行う。 (指標) ・一人1単元、教科で探究的なプロジェクト型学習の単元開発 ・各種学力検査で、全国・市の平均を上回る。 ・三次市学力到達度検査30%未満の生徒0人	・探究的なプロジェクト型学習の単元開発(見方・考え方を深める授業)各教科で1単元以上 ・研究授業を定期的実施し、授業力の向上を図る。 ・学力検査の結果を分析し、日々の授業改善に努める。 ・個別最適な学び、協働的な学び ・授業の「振り返り」の充実 ・生徒会代議員会による授業評価の継続 ・他地域とのオンライン授業 ・みよし結芽人育成研修会
		○キャリア教育を柱としたカリキュラムを小中で系統的に行う。 (指標) ・生徒アンケート i-check 「地域貢献・社会参画」平均以上	・地域から学び探究する地域探究学習(小学校1年～中学校3年) ・9年間を貫く系統的なキャリア教育(自己をしっかりと認識させながら行う) ・社会に開かれた教育課程 ・積極的な地域貢献活動(郷土愛と誇りを高める) ・異年齢交流
豊かな心	○「生徒指導の実践上の視点」を生かした教育活動で、社会で通用する自己指導能力を育てる	○執行部がリーダーシップを発揮し、主体的な生徒会活動推進と委員会活動の充実を図る。共感的人間関係を向上させる。 (指標) 生徒アンケート 「責任感」「自己有用感」「心に残る行事」80%以上 i-check 「対話」「学級の絆」平均以上	・専門委員会、執行委員会、生徒朝会の定例化による生徒会活動の活性化を行う。集団の向上を図る。 ・執行部、委員会を中心とした生徒主体の生徒会行事・学校行事の充実を図る。(新入生歓迎会、小中合同運動会、文化祭、送る会等)
		○3つの行動規範「時を守り、場を清め、礼を正す」を柱とし、自己指導能力のある生徒を育てる。 (指標) 生徒アンケート 90%以上 i-check 「規範意識」平均以上	・専門委員会、執行委員会、生徒朝会の定例化による生徒会活動の活性化を行う。 ・授業評価をもとに午後のHRで振り返りを行うことで、主体的に学ぶ生徒を育てる。 ・代議員会を中心とした挨拶運動により、先行挨拶ができるよう取り組む。 ・生活委員会を中心とした、環境整備や身だしなみを整える活動を行う。

健やかな体	○生徒の自己指導能力を高め、活力ある生徒を育てる	○基本的な生活習慣が身につく、生徒の自己指導能力が向上している。 ・三点固定の取組を行う ・食育指導を年1回以上行う	○三点固定の取組を小中で行う。 ○栄養士と連携した食育指導を年1回以上実施し、生徒の意識を高める。 ○文化委員会の給食放送を通して、食への理解を高める。
		○体力づくりを充実させる。 ・個々の体力向上プログラムを実施	○体力テストの結果をもとに、授業や各運動部で弱点を克服するプログラムを作成、実行することで体力向上に努める。
信頼される学校	○学校(小学校・中学校)・家庭・地域等の連携により、「学んでよかったと思える学校」「地域とともにある学校」を創る	○生徒が授業や学校生活に満足している。 〈指標〉生徒アンケート 「授業はわかる」「学校が楽しい」100%	○社会に開かれた教育課程、キャリア教育を柱とし地域資源を活用した地域探究学習と学習成果の発信を行う。 ○生徒アンケートを年2回実施し、取組に生かす。
		○保護者が本校の教育に満足している。 〈指標〉保護者アンケート 「発信をしている」「通わせてよかった」100%	○社会に開かれた教育課程、キャリア教育を柱とし地域資源を活用した地域探究学習と学習成果の発信を行う。 ○HPを週1回以上、学級便りを月1回以上出す。 ○保護者アンケートを年2回実施し、取組の結果等を保護者に返す。